



シンポジウムのご案内



小中学校の不登校が全国で34万6千人となり、子どもと教師をめぐる深刻な実態が明らかになっています。教師の忙しいという悲鳴と不登校が毎年なぜ増え続けているのでしょうか。今年は、この問題に焦点を当て交流します。フローアからの発言をお待ちしています。

シンポジウムテーマ ～何が起きているの？～ 「不登校問題を考える」

“シンポジスト”

- ✿ 亀田立子さん 通称「コスモス会」
- ✿ 坂本麻季子さん 不登校当事者の母親
- ✿ 日高祥子さん 不登校当事者の母親

📅 とき 2025年 6月1日(日)

- ・ 12:00 受付
- ・ 12:45 オープニング
- ・ 13:00 シンポジウム
- ・ 15:15 総会

📍 ところ 宮崎市総合福祉保健センター

(花山手・市民文化ホールの隣)



どなたでも参加可

参加費無料

こども家庭庁創設

教師のなり手が減少しています。教師を評価し、給与に差を付ける人事考課制度が狙われています。この問題と不登校やいじめの増加原因と根っ子は同じではないでしょうか。「こども基本法」に「子どもの権利条約」の精神で教育する事が初めて明記されましたが、実現されるのでしょうか。みんなで考えてみましょう。

・「子どもの権利条約」宮崎の会 宮崎中央法律事務所内

・お問い合わせ 0984-22-7143 久保田政見